

DogNose通信(18)2018-1-18



DogNose永遠のルーキ:Luke

- センサ研究開発・製造販売
- ・課題解決型のセンサ開発
- ・シーズベースのセンサご提案
- ・IOTセンサ製造販売

News:

- (1)IEC国際幹事初仕事:ウラジオストックで国際会合参加
- (2)試作例:販売開始前夜:MEMS加速度センサを用いた振動計

DogNoseセンサ技研

代表 三原 孝士(工学博士) 東京都西東京市

mihara.dognose.sen@gmail.com

<http://dognosesens.web.fc2.com/>

本年もよろしくお願いたします。私は公務としてスイスに本部がある標準化機構IEC(国際電気標準会議)のMEMS部門(SC47F)の国際幹事を2017年7月から担当しています。この幹事として初めての会合が、ロシア・ウラジオストックで10月に開催されました。なかなか行けない場所です。ロシア料理・鹿料理、海鮮料理・・食材には困らないようです。シベリア鉄道の駅舎も風情があるものでした。風景が北海道に似ているとコメントがありました。

会場施設



ウラジオストックの風景

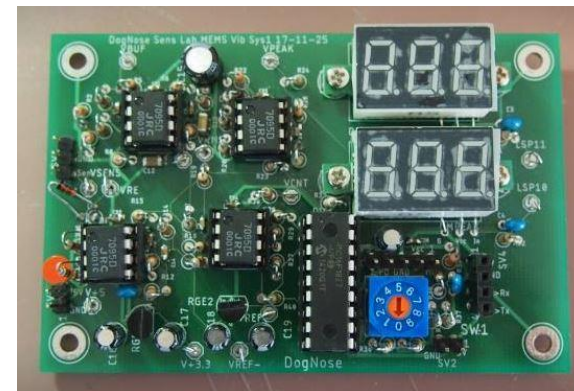


レストランで2ショット

DogNose今回の製作例:

販売開始前夜:MEMS加速度センサを用いた振動計

昨年10月の展示会で、かなりマニアックな試作品を出展した結果、あまり反響が無いことが判りました。そこで簡単に確実に利用できるMEMS加速度センサを使ったUSB振動計を制作しました。振動の加速度のrms値、ピーク値、周波数、振動面の角度、およびUSB経由で振動加速度の時間変化をPC上に取得できる構成です。MEMSセンサは重力の加速度の為にオフセット分が乗って厄介ですが、これを使って傾きが計測できます。アナログで信号処理し、デジタルで補正、PWM-アナログ表示します。研究者やエンジニアの方が、気軽にMEMS加速度センサを使って試行することを目的としています。何故か何時も暇なのですが、3月までは業務がひっ迫していて、販売までには時間がかかりそうです。



MEMS加速度センサを使った振動計